Black Santa Claus

イチハラ ユウコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Black Santa Claus

【Nコード】

N4429P

【作者名】

イチハラ ユウコ

【あらすじ】

クリスマスイブの夜、二人のサンタが空を駆ける。
赤いサンタと、黒いサンタ。
彼らの袋には、なにが詰まっているのだろう。

(前書き)

前に、テレビで「黒いサンタ」のことを聞いた事がありました。
それをもとに、書いてみました。
楽しんで頂けたら、幸いです。

あるところに、一人の幼い女の子がいました。

女の子はとても良い子で、町のみんなからも好かれていました。

その子は、クリスマススイブの夜、笑顔でお母さんにこう言いました。

「クリスマスはね、サンタさんに、こうお願いするの。」

『いつまでもみんな幸せに暮らせませうに』って。」

ピンク色のパジャマを着て、女の子は眠りにつきました。

あるところに、一人の幼い男の子がいました。

男の子はすごく悪い子で、町の人には「あんな子はいなくなってしまう
えばいい」思っていました。

その子は、クリスマススイブの日、こう呟きました。

「サンタなんて、いるわけねーじゃん。」

水玉の靴下を履いたまま、男の子は眠りにつきました。

あるところに、一人の幼い男の子がいました。

男の子は、悪い子で、町のみんなは厄介がつていました。

その子は、クリスマススイブの日、こう言いました。

「サンタには、おれの欲しいもの、ぜーんぶ持ってきて貰うんだ。」

深緑のパジャマを着て、男の子は眠りにつきました。

次の朝。

女の子の元には、手紙と可愛いぬいぐるみが置いてありました。

一人の男の子は、靴下を片方残していなくなってしまいました。

一人の男の子の元には、何かの内臓が置いてありました。

赤いサンタは、空を駆ける。

良い子の元へ。

彼の袋には。

『希望』という名のプレゼントが詰まっている。

黒いサンタは、空を駆ける。

悪い子の元へ。

彼の持っている袋から。

水玉の布が覗いていた。

(後書き)

読んでくださり、有難うございました。

初めての短編だったのですが、いかがだったでしょうか。

感想など、お待ちしています。

なんでも良いので、気軽に送ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4429p/>

Black Santa Claus

2010年12月12日03時23分発行